

市内における新型コロナウイルス感染症の感染者状況について

令和4年2月2日に開催された、新型コロナウイルスの感染状況を分析する厚生労働省の助言機関、「第70回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード」によりますと、全国の新規感染者数は増加が続き、直近の1週間では10万人あたり約426人となっている。新規感染者は20代以下を中心に増加しているが、年代別の割合では20代が減少する一方、10歳未満が増加している。全国で新規感染者数の増加が継続していることに伴い、療養者数の急増や重症者数の増加が継続している。

全国の新規感染者はオミクロン株への置き換わりとともに急増している。年末・年始における会食などの接触機会の増加による感染者の急増から、感染の場は家庭、職場、学校、医療機関、介護福祉施設などに移り、拡大していると考えられる。夜間滞留人口については、重点措置区域ではおおむね減少傾向にあるが、一部で増加している区域もある。今週先週比や実効再生産数からは、一部の地域で減少傾向や上げ止まりの状況であり、増加速度の鈍化傾向も見られるが、オミクロン株の特性やPCR検査陽性率などの推移から、今後も全国で増加速度は鈍化しつつも感染拡大が継続すると考えられ、オミクロン株の特性や現在の感染状況を踏まえた対策を迅速に実施する必要があるとしています。

■ 埼玉県内の累計陽性確認者数 : 168,963 人 (1 月 31 日現在)

・ 1 月の陽性確認者数 : 52,871 人

■ 市内の累計陽性確認者数 : 1,366 人 (1 月 31 日現在)

・ 1 月の陽性確認者数 : 384 人

【内訳】

1月	陽性確認者数 (人)	構成割合 (%)
未就学児	23	6.0
10代未満	30	7.8
10代	73	19.0
20代	71	18.4
30代	58	15.1
40代	54	14.1
50代	35	9.1
60代	29	7.6
70代	6	1.6
80代	2	0.5
90代	2	0.5
その他	1	0.3
合 計	384	100.0